

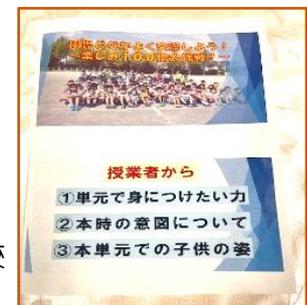
「松伏第二小学校 3年生の総合的な学習の授業研究会に参加してきました。」

昨る11月30日(火)午後1時30分より、松伏第二小学校体育館と多目的教室にて「埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会」が開催され、当「こどものもり」の年長児と3年生の交流から育ててきた子ども達の姿についての実践報告会が開催され、東部地区小学校の先生方と一緒に、3年生との交流をしてきた「こどものもりの園児」の代表として理事長の若盛正城と年長担当の高橋香先生も参加してきました。

当日は、体育館にて3年生の担任と生徒が、5月頃から何度となく細かな打ち合わせをしながら「園児となかよく交流しよう！～楽しみ100倍大作戦～」のテーマのもと交流を深めてきた成果の公開授業でした。1時間内をタブレットを使い個々の生徒の意見を細やかに生かした内容の濃い授業の進め方に、多くの先生たちも感心していました。

「当園の年長児と小学校との交流について」

当園の年長児も、最初はお互いに緊張からか、ぎこちない雰囲気でしたが、回を重ねるごとに小学生も園児に対しての気持ちも理解し始め、「園児が喜ぶあそび計画」として、学校でのお招きの会や、校庭で楽しく遊び合う計画や、体育館でのハロウィンパーティーの衣装作りなどへの交流体験を通し、お互いに少しずつ積極的な行動や考え方が育ててきていて園内での話し合いなども目に見えて自信に繋がる会話や行動を見せてきています。



第二小学校での研修資料と研修風景



5月のお招き会交流風景



7月 二小校庭にての交流



10月 二小体育館にてハロウィン衣装作り風景

「町内での保幼小連携に向けて」

「地域で子ども子育ての役割の重要性」が文部科学省から通達され、当町も早くから「松伏町保幼小連絡協議会」の組織作りと運営を実施し、教育委員会とすこやか子育て課の連名のもと、町内各小学校と幼稚園の先生方が集まり、会場を順番に1年生の授業や公開保育をし合いながら、年4回を各園や学校を回りながらの研修会の開催を通して、相互の情報の交換と「意欲や気配りの出来る子ども中心の街づくり」に取り組んで来ています。

「これからも自信と意欲のある子どもを目指して」

この度の研究会では、3年生の総合的教育の授業を通して「子ども主体の教育・保育の実践」の成果が非常に生かされていて、当園の年長児も大変良い体験になってきています。学校は45分内で伝え、まとめ、次への授業を進めなければなりません、就学前施設はゆったりと遊びを中心に生活が進んでいることの違いがありますが、○「自分達なりに考え、グループにて意見を出し合い、発表することが楽しい」こと。○「自分だけでなく、相手も違う意見があり、相手の言葉や意見を聞いて考えることが大切であることに気づく」などを理解し始めています。○「自分だけでなく、お互いに助け合うことが気持ち良いことに気づく。」など、さらに「より賢いこどものもりの子ども達」を目指し、自信と意欲が育っていけますように、ご家庭でも「顔を見合わせながら親子の会話を通して、お互いの話をていねいに聞く体験」を積極的に進めていただければと願っています。



太陽の部屋で第二小の子ども達の訪問を受ける子ども達や先生達



輪になって話し合う保育風景